

魅力ある学校づくり地域協議会通信

発行 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議
宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課

1 「魅力ある学校づくり地域協議会関係者研修会」の報告について

- ・ 標記研修会(市教委, 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議共催)が, 平成27年11月4日に市役所14階大会議室で, 69名の関係者の方の参加を得て開催されました。
- ・ 当日は, 協議会や学校の代表者, 地域コーディネーターを対象に, 全国の多数の活動事例をもとに, 効果的に地域を巻き込んだ活動を行うための方策について確認したところです。

研修内容 講話 「地域とともにある学校づくり～地域を巻き込んだ活動を活性化させるためには」 株式会社野村総合研究所社会システムコンサルティング部 妹尾昌俊(せのおまさとし)氏

○鳥取県南部町立会見小学校では, GTA (Grandparent-Teacher-Association) と呼ばれる祖父母が参加する場を設けて, 気軽に学校に来てもらえるような働きかけを続けており, 新たな協力者を開拓することにつながっている。

○保護者, 地域へ広く情報提供するために, 学校便りの配布方法を工夫している事例がある。ある小学校では, 地域の人が実際に手に取って見てくれそうな場所, シーンはどのようなところか検討し, 住民が比較的時間的な余裕を持っている喫茶店, 銀行, 病院の待合室などに学校便りを置いている。

○地域とともにある学校づくりを進めるステップとして, 地域の子どもの育ちについての①情報の共有②思い(ビジョン, 戦略, 目標)の共有③アクション(行動)の共有④改善方法の共有の4ステップがあり, 特に情報の共有と思いの共有ができていると活動につながりやすい。

○情報の共有: ある学校では, 養護教諭が持っていた保健室を訪れた子どもの記録をもとに, 学校の敷地内で起きた怪我のマップを作成した。すると意外にも教室での怪我が多いことが分かり, 敷地内点検の際には, 教室内の点検が丁寧に行われるようになった。

○思いの共有: ある公立中学校の学校経営計画は, 「[中期的目標と方策]」として, 「教育活動のあらゆる場面において, 心の醸成を図る」や「自ら学ぶ意欲や知的好奇心の高揚を図る」などがある。また「今年度の重点目標と方策」として, 「授業規律を確立し, 基礎的, 基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる」や「あらゆる学習指導において言語活動を重視するとともに, 科学的なものの見方・考え方の育成を図る」などがある。このように, 内容が広範にわたり, 抽象的で項目数が多く, 地域に何を求めているのかが分かりずらいため, 学校が目指す子ども像に対する思い(ビジョン, 戦略, 目標)の共有を図ることができていない事例が見受けられる。思いの共有を図るためには, 課題の重点化とビジョンの明確化, 重点目標として掲げたい項目や取組のうち, どの目標に重点を置くのかを明確にすることが重要である。



2 平成 27年度「第2回地域コーディネーター研修会」の報告について

- ・ 標記研修会(県教委, 市教委, 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議など共催)が, 平成 27 年 11 月 26 日に河内庁舎で, 82名の関係者の方の参加を得て開催されました。
- ・ 当日は, 主に地域コーディネーター, 地域連携教員, 社会教育主事等を対象に, 学校と地域が融合して取り組む先進事例や活動の工夫を情報共有し, その意義を再確認したところです。

第1部 事例発表

①地域連携教員と学校支援コーディネーターの連携事例

上三川町立本郷北小学校 地域連携教員 鈴木光子氏
学校支援コーディネーター 白井嘉奈子氏

○地域連携教員とコーディネーターが連携し, 円滑に活動するために, 役割分担を見直し, 活動しやすい体制を整えたことや, 連絡手段としてLINE を使っているなどの事例紹介がありました。



【地域連携教員の役割】	【コーディネーターの役割】
①既存のボランティア関係の整理と活用状況 ↓の把握 ②年間計画の作成(学校の年間計画から ボランティアが必要な単元の洗い出し)	③学校からの依頼を受け, ボランティアの ↓人材発掘 ④ボランティアの募集・取りまとめ

②地域コーディネーターとしての実践事例

宇都宮市立田原小学校魅力ある学校づくり地域協議会
地域コーディネーター 中里雅代氏

○学校の授業や出前授業, クラブ活動, 委員会活動, 放課後子ども教室といった実施時間帯が共通する活動とコラボレーションすることによって, 活動アドバイザーを始めとする協力者を各活動で共有でき, 活動がより活性化するなどの事例紹介がありました。

○また, PTA文化祭や, 図書環境整理, 図書修繕に中学生ボランティアを導入している事例紹介がありました。



第2部 グループ協議「学校と地域の連携をより進めるために」

○協議1 同規模の学校ごとに5~6名のグループに分かれて, 自身の地域の子どもの現状や課題, その解決策について話し合った結果を模造紙にまとめ, 他のグループの人への説明を行うことで情報の共有を図りました。

○協議2 役職や校種ごとのグループに分かれて, 活動の中で悩んでいることや, 困難だと感じていることについて話し合い, 情報交換を行いました。



3 お知らせ

○協議会通信バックナンバーのご案内

- ・ 過去の通信を以下のホームページでご覧になれますので, 是非ご活用下さい。

http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shogai_gakushu/shogaigakushu/034121.html